

令和5年9月1日



園長 中川 宏美

みらいだより

夏の終わりがあるのかと疑いたくなる毎日が続いています。夏祭りには、たくさんのご協力ありがとうございました。その後も異年齢で「お祭りごっこ」が深まっています。園庭では、泥だんご作り、虫探し、水遊びなど工夫して遊びをみつけ出しています。夏の疲れか体調を崩している子が増えています。健康には十分気をつけていただきますようよろしくお願いいたします。

9 月			行事予定
月	日	曜	
9	9	土	・お弁当の日 ・保護者交流会(どんぐり) 運動遊び
	14	木	・身体測定(0・1・5 歳児) ・広島県サッカー協会キッズ 巡回指導(そら・ひかり)
	15	金	身体測定(2・3・4 歳児)
	22	金	運動会リハーサル(たけのこ・りす) 8:55 分までの登園をお願いします。
	26	火	運動会リハーサル(うさぎ・そら・ひかり) 8:55 分までの登園をお願いします。

※変更の場合あり

8/26 夏祭り(子どもが企画準備)

広島文教大学の和太鼓演奏から始まるにぎやかな夏祭りになりました。保護者の皆さまの、ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

「ひかり組としての夏祭り。準備の段階からとにかく気合が伝わってきて、主体となって参加する意識にとっても成長を感じた」「来店者への対応や、お店の店員をしている姿に、自ら考え行動するといった成長を感じさせられた」とたくさんの感想をいただきました。夏祭りを通して子どもの成長を、たくさん発見しました。



10/14 第9回 運動会
(たけのこ・りす・うさぎ・そら・ひかり)

「子どもを信頼して見守る」

運動あそび、リズムあそびに参加しないで見ている子どもがいます。

大人は、みんなと一緒にできないと、心配になります。「みんなと一緒にしなさい」「友だちは、やっているよ」「どうしてみんながやっているのにできないの・・・」と言いたくなります。子どもには、「今」それをしない理由が必ずあります。子どもには、それぞれのペースがありそんな気持ちを大切に受け止めています。ありのままの子どもの姿を受け止めることで、子どもは自分のペースで参加していきます。おらかな気持ちで見守られた子どもは、自ら育ち、自ら学ぶようになることを実感します。

「へいわってなに」

「みんなが笑ってる」
「ありがとうって言う」
「お友だちに優しくする」
「折り鶴何個折ったらいいの？」
「千羽折ったら平和公園に持って行きたい」



※ひかりピースコーナーの千羽鶴作りにご協力いただきありがとうございました。今後ご協力よろしくお願いいたします。



どんぐり組(0歳児)：「一緒にカンカン♪」

友だちがペットボトルのキャップで缶を叩く音を聞いて、同じようにボールで缶を叩いてみます。一緒に缶を叩いて、目を見合わせて笑顔になります。遊びの中で感覚の働きを豊かにします。



たけのこ組(1歳児)：「小さなおかあさん」

鍋をコンロにのせ、具材をかき混ぜ蓋をします。「できた」お皿に料理をのせます。家庭でのお母さんの動きをよくみていて真似て遊びます。友だちと同じように動き、その時々で創り出す世界を味わいながら遊んでいます。

りす組(2歳児)：「ちょうちょみつけた」

「ちょうちょがおった」木にとまったちょうちょをみつけ「なんか、こうやっているよ」羽が動いているのをみて体で表現します。羽のけがをみつけて「あそこダンゴ虫に食べられたんかね」「痛そうだね」ちょうちょを思いやります。身近な生き物に触れ、心が動く経験を繰り返しています。



うさぎ組(3歳児)：「はちだ！！」

木の幹にできた樹液をみつけ「たいへん、蜂の卵がある」「蜂に刺されたら大げがしちゃう」「蜂は、はちみつ食べるから黄色い卵を産むんだよ」「蜂が出てきたら危ないでしょ」「ちょっとべとべとしてるでしょ」自分の知識を友だちと共有し想像力豊かに遊んでいます。

そら組(4歳児)：「川探索」

「川にマグロおるか」「タカアシガニもおるか」「アメンボおるよ」「逃げるのはやっ！」「みて、タニシ見つけた！」「あっちにトンボおるよ」魚やアメンボの捕まえ方を工夫したり、友だちと協力して試行錯誤しながら川の生き物を夢中で探していました。



ひかり組(5歳児)：「また遊ぼうね」

みどりの森ゆめのはこども園(安佐北区)との交流では、「何して遊ぼうか」「バナナ鬼や氷鬼をしよう」と鬼ごっこをしたり、みらいでブームの折り紙の鶴や風船の折り方を丁寧に優しい言葉で伝えていました。気の合う友だちと、仲良くなり自分の思いや考えを伝えあい遊んでいます。お互いの園で、それぞれ遊びのブームがあり刺激を受けています。